

立教 160

「神人の道」を開く

世に輝く
明い光に

金光とはきんひか金光ると書き
明あかい方はだれでも見ようが
おいおいは明い方へ人が来る

立教聖場

立教神伝

金子大明神。

この幣切り境に肥灰さしとめるから、

その分に承知してくれ。

外業業はいたし、農業へ出

人が願ひ出、呼びに来、もどり。

願ひがすみ、また農へ出

またも呼びに来。

農業する間もなし、来た人も待ち、

両方のさしつかえに相成り。

なんと家業やめてくれんか。

其方四十二歳の年には、

病気で医師も手を放し、

心配いたし、神仏願ひ、

おかげで全快いたし。

その時死んだと思つて欲を放して、

天地金乃神を助けてくれ。

家内も後家になったと思つてくれ。

後家よりまし、もの言われ相談もなり。

子供連れてぼとぼと農業しおつてくれ。

此方のように実意丁寧神信心いたしおる氏子が、

世間になんぼうも難儀な氏子あり、

取次助けてやつてくれ。

神も助かり、氏子も立ち行き。

氏子あつての神、神あつての氏子、

末々繁盛いたし、

親にかかり子にかかり、

あいよかけよで立ち行き、とお知らせ。

於 本部広前祭場

立教160年 生神金光大神大祭

9月29日(日) 10月6日(日) 10日(木)

於 本部広前会堂

立教160年 立教記念祭

11月15日(金)